

# やまとの名品

天理図書館



【三美唐子遊戯図】

蘇州版画

清代初期刊  
縦 58・2 cm  
横 26・4 cm  
一軸

主に清代の雍正年間から乾隆年間（一七二二～一七九五）にかけて、中国・蘇州の桃花塢地区を中心に制作された版画を蘇州版画と称する。その大半は正月に門扉や室内に飾る「年画」である。

年画に描かれた題材は、財運・長寿・子宝に恵まれるよう願う吉祥画、明代の人気戯曲や小説の一場面、または花鳥風月・美人画など多岐に亘り、新年を祝う図柄が多い。

構図や彩色は、西洋から伝来した銅版画の技法を積極的に取り入れており、西洋画の影響が色濃く残る。また、大きいものは縦一メートル、横五十センチ

にもなり、それまで書物の挿絵

を中心に発展してきた中国版画史上画期的なものであった。

しかし、毎年正月に貼り替える消耗品であったことに加え、清代末期から民国初期の度重なる戦乱により紛失し、中国本土にはほとんど残っていない。

日本には江戸時代、長崎を通じて多数輸入されており、長崎版画や浮世絵などに大きな影響



『孫行者大戦紅孩児図』

を与えた。

本館は三十九点の蘇州版画を所蔵するが、掲出の『三美唐子遊戯図』と『孫行者大戦紅孩児図』は共に清代初期の作品で、明治・大正の文人画家・富岡鉄斎旧蔵。清代初期の蘇州版画は現存するものが少なく、貴重な一品である。

（天理図書館 森山恭二）

天理図書館のお知らせ Tel: 0743-63-9200 <https://www.tcl.gr.jp/>

◆平日（午前9時～午後5時半） 土・日・祝（午前9時～午後4時半）

○4月の休館日:18日・29日・30日

（本欄にて紹介した名品の閲覧については係へお尋ねください）